

# 北海道から 秋田県へ

氏名 加賀谷 育子

北海道北斗市立浜分小学校 → 秋田県湯沢市立湯沢西小学校

(期間：平成25年4月1日～平成27年3月31日)

## 1 派遣先の学力向上等の取組

### ○県学習状況調査

12月上旬、4年生以上を対象とした学力テストと学習意欲に関わるアンケートが一斉に行われます。

教科は、国語、算数、理科に5・6年生は社会科も加わります。

この調査に向けて、約1か月前から過去の問題に取り組み、苦手な学習を克服するとともに、より確実な解答を目指して、テストを受ける際のコツ（無回答にはしない、時間配分など）も身につけています。

また、調査後には、各学年、各教科の分析を全職員で分担して行い、3学期からの学習につなげています。

### ○単元評価テスト

1年生から算数と理科の2教科で、単元毎に教育委員会作成の全県共通のテストを行っています。そして、問題毎の正答数や無回答数を教育委員会に報告しています。

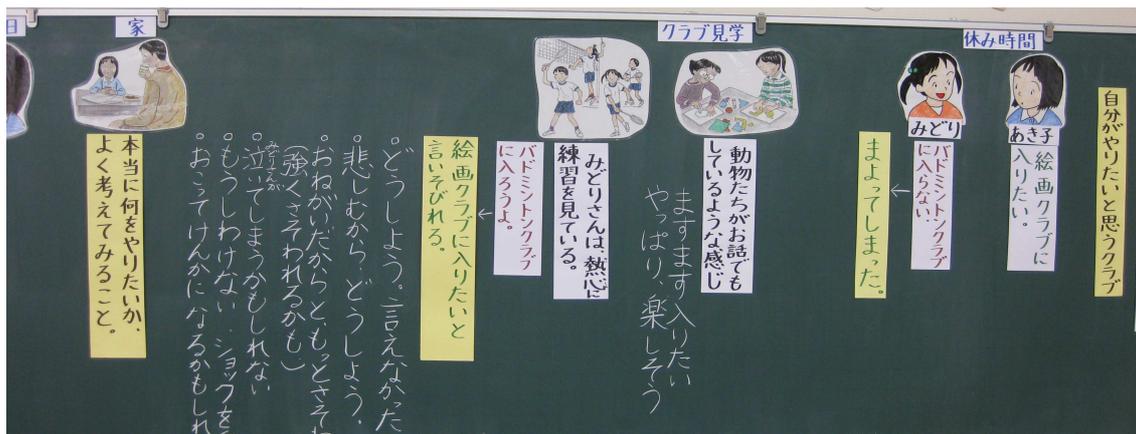
### ○学習の振り返りアンケート

「めあてや課題を意識して意欲をもって学習する」「既習事項を基に明確に考えを書いたり話したりする」「共通点や違い、よさを判断し、進んで話し合う」「勉強したことがよくわかる」の4項目について、学期ごとに全児童へアンケートを取り集計しています。

また、教師側も研究の重点や共通実践事項について振り返り、児童のアンケート結果と合わせ、成果や課題を明確にし、次の学期へつなげています。

### ○指導主事訪問

指導主事による計画訪問が年に3、4回あり、主要教科だけではなく、音楽や学級活動、道徳など、様々な教科や領域の指定を受けます。授業後の指導や助言では、新しい情報や授業づくりのポイント、すぐに実践できることなど、多くのことを学ぶことができました。



### ○放課後学習・補習

部活動が始まる前に、部員が一つの教室に集まり、その日の宿題や家庭学習に取り組んでいます。学習時間は、各部活の開始時刻によって異なり、短いと20分程度、長いと1時間くらいになることもあります。計画的に学習を進める習慣や集中力も養われているように感じました。

### ○地域での「小・小」「小・中」学校の連携

小学校、中学校と9年間を見通した教育活動を充実させるため、進学先である中学校との連携、同じ中学校に進学する小学校同士で学習指導や生徒指導面で実践を積み重ねています。中学への体験入学や文化祭への参加という行事だけでなく、ボランティア活動やあいさつ運動など日常的な交流を行っています。

### ○健康・衛生指導

毎週1回のフッ素による口内洗浄をはじめ、暖房を入れると同時に、各学級に置いてある加湿器の使用、ステリプロ（除菌剤）の散布を行っています。

また、給食で麺類が出た時はスープを全部飲まないという指導のほか、長期休業前には、養護教諭から全校児童へ、起床や就寝時刻、歯磨き、排便、目覚めのよさなど細かいチェック項目が載っている表が配られていました。

体調や健康に配慮し、基本的な習慣を身につけてほしいという願いが強く感じられました。

### ○作品展・コンクール

毎年恒例となっている作文や絵画、書写作品などのコンクールが多くあります。興味のある子だけではなく、授業で全員に指導し取り組ませることで、児童の力を伸ばしたり、活躍の場を広げたりしていることを実感しました。



## 2 北海道に戻って実践したいこと

### ○湯沢西小学校の校内研修の紹介

渡島教育局主催の10年経験者研修で、秋田県の取組や実践を説明しました。

### ○家庭学習の充実

学校としての学力向上の取組を進めながら、学年でも連携して家庭学習の習慣化と内容のレベルアップを目指しています。

